



インフルエンザ ワクチン接種の検討を！

令和5年10月11日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和5年第40週分・10月2日～10月8日)

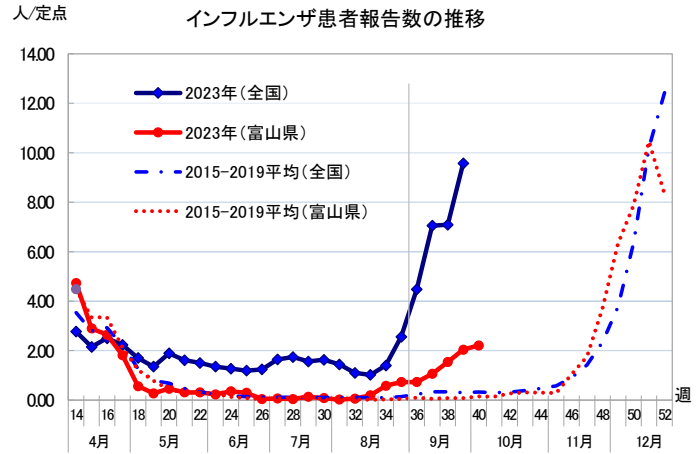
《インフォメーション》

●インフルエンザ

インフルエンザは流行時期に合わせ、毎年第36週(8月末～9月初旬)から翌年の第35週までの1年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。しかし、全国のインフルエンザ患者数は、流行入りの目安である1.0人/定点を下回ることなく、シーズン最後の第35週以降急増し、第39週時点で9.57人/定点と報告されています(右図)。

一方、富山県では、例年(2015～2019年平均)と比較し、約2か月早い第37週に1.0人/定点を超え、県は9月20日に流行シーズン入りを報道発表しました。その後も増加は続き、第40週の報告数は2.21人/定点になりましたが、現時点では全国のような急激な増加は見られません。患者の年齢層は小児が主体で、小中学校や高校で学級閉鎖等が発生しており、学校等の集団生活の場での感染拡大に注意が必要です。このような例年のないインフルエンザの流行は、COVID-19 パンデミック後の2020/21年、2021/22年シーズンにインフルエンザの流行が消失したために国内でインフルエンザウイルスに対する抗体を持たない人が増加していることが一因ではないかと考えられています([日本ワクチン学会の見解](#))。

重症化予防対策としては、インフルエンザワクチン接種が推奨されます。インフルエンザワクチンは、接種の効果が現れるまで約2週間かかり、約5か月間持続するとされています。接種日において65歳以上の方や60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に重度の障害を有する方は、市町村が実施する「定期予防接種」の対象者となり、接種費用の一部が助成されます。また、生後6か月以上の未就学児には県からの助成が、小中学生等には各市町村からの助成があります([富山県インフルエンザ関連情報](#))。日本ワクチン学会は、生後6か月以上のすべての人に対するインフルエンザワクチンの接種を推奨しています。一部の医療機関ではワクチン接種が始まっていますので、助成対象期間等もご確認の上、早めの接種を検討しましょう。



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①第39週診断分：80歳代、女性 ②20歳代、男性 ③80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (20歳代、女性、O103、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (第39週診断分：70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 急性脳炎 1件 (10歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	COVID-19	5.67 (↓)	9.83
2位	手足口病	3.66 (↑)	2.93
3位	感染性胃腸炎	3.48 (↑)	3.41
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.72 (↓)	2.83
5位	インフルエンザ	2.21 (↑)	2.04
6位	咽頭結膜熱	1.52 (↑)	0.86



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第40週 令和5年10月2日～令和5年10月8日）

分類	疾患	今週報告分（第40週）					累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				2	2	5	6	24	5	57	97	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		1	1		3	3	13	20	
	四類感染症	オウム病									1		1	
		日本紅斑熱										1	1	
		レジオネラ症							4	1	13	1	11	30
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		ウイルス性肝炎									1			1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	11	24
		急性脳炎					1	1				1	2	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	5	12
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	7	11
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	5	1	11	19
		水痘（入院例）								1		1	4	6
		梅毒									2	1	14	17
		播種性クリプトコックス症							1					1
破傷風										1			1	
百日咳												4	4	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	6	9	66	1	24	106	841	1,405	3,499	1,170	4,807	11,722
		COVID-19（※1）	0.86	1.80	5.08	0.14	1.50	2.21						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	52	19	92	42	67	272	1,625	1,038	2,916	1,432	2,714	9,725
		7.43	3.80	7.08	6.00	4.19	5.67							
		RSウイルス感染症	2	2	1		1	6	73	120	648	257	585	1,683
		0.50	0.67	0.13		0.10	0.21							
		咽頭結膜熱	1		23	1	19	44	69	52	325	45	198	689
		0.25		2.88	0.25	1.90	1.52							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4		30	2	43	79	73	27	1,018	14	810	1,942
		1.00		3.75	0.50	4.30	2.72							
		感染性胃腸炎	19	9	9	9	55	101	794	763	1,340	920	4,493	8,310
		4.75	3.00	1.13	2.25	5.50	3.48							
		水痘							4	21	35	6	57	123
		手足口病	4	12	31	35	24	106	43	82	378	181	292	976
	1.00	4.00	3.88	8.75	2.40	3.66								
	伝染性紅斑							1		2		6	9	
	突発性発しん			1	2	5	8	14	28	101	27	77	247	
				0.13	0.50	0.50	0.28							
	ヘルパンギーナ	2	1	12		11	26	113	133	800	104	552	1,702	
0.50	0.33	1.50		1.10	0.90									
流行性耳下腺炎			1			1	1	2	9	2	14	28		
			0.13			0.03								
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎	1				2	3	4	2	28		8	42	
	1.00				1.00	0.43								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2	
	マイコプラズマ肺炎									7			7	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1			1			2		1	3	
	COVID-19による入院患者（※3）	1	7	1	4	12	25	5	12	4	9	38	68	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

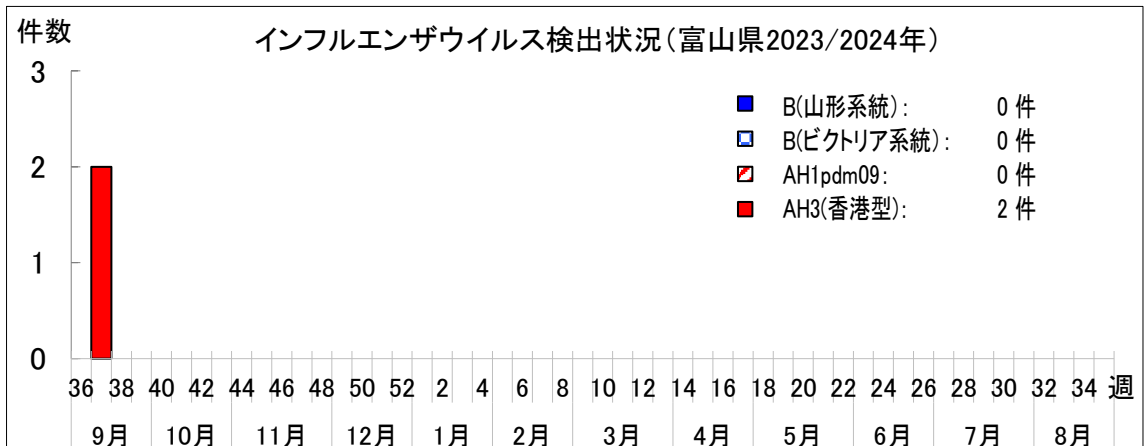
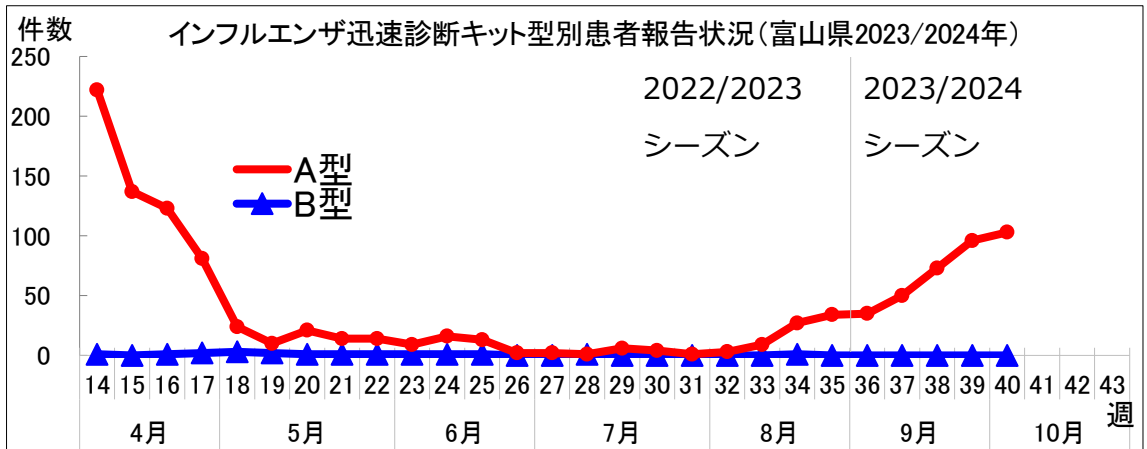
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が97.2%となっています。

第40週(10/2~10/8)：富山県 2.21人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	6	0	0	6
中部	1 / 5	9	0	0	9
高岡	8 / 13	65	0	1	66
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	6 / 16	22	0	2	24
富山県	20 / 48 ^{※1}	103	0	3	106
富山県累計(2023年36週~)		357	0	7	364

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が20か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





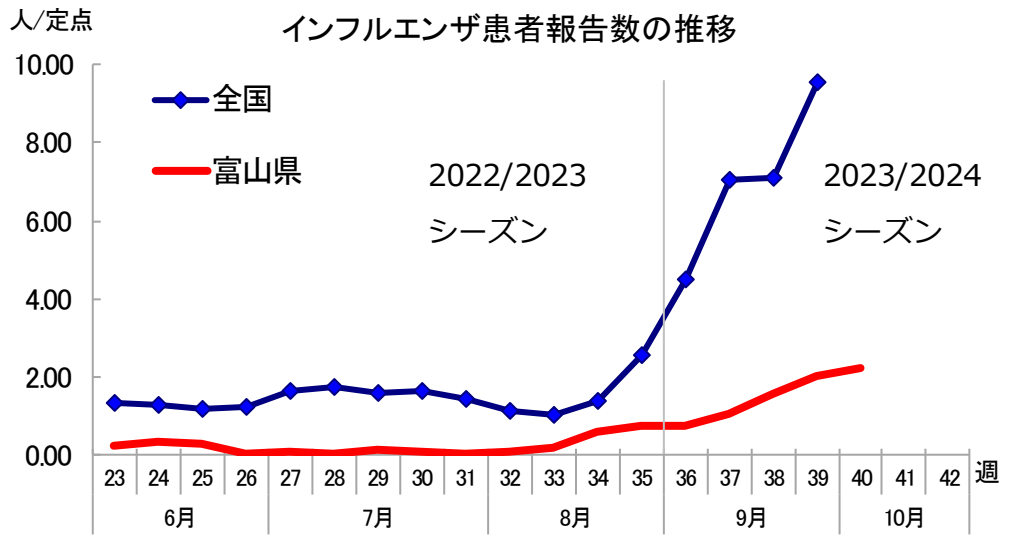
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第40週 (10/2~10/8) : 富山県 2.21人/定点

新川 HC (0.86)、中部 HC (1.80)、高岡 HC (5.08)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (1.50)

全国のインフルエンザ患者報告数は、第35週以降急増し、第39週に9.57人/定点の報告がありました。

県内の患者報告数は2.21人/定点となり、緩やかな増加が継続しています。

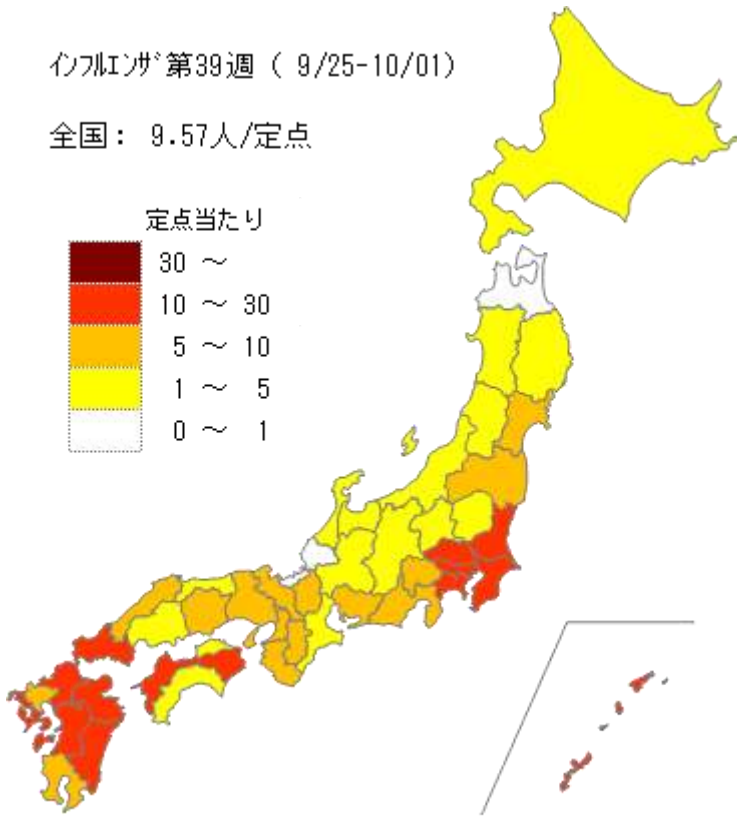


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第39週 (9/25~10/1)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 9.57 人となり、前週の 7.09 人より増加しました。39 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第39週 (9/25-10/01)

全国：9.57人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.09 ↑	滋賀県	5.20 ↑
青森県	0.48 ↑	京都府	6.98 ↑
岩手県	1.03 ↑	大阪府	6.61 ↑
宮城県	5.55 ↑	兵庫県	9.74 ↑
秋田県	1.48 ↑	奈良県	6.33 ↑
山形県	1.65 ↑	和歌山県	5.27 ↑
福島県	5.82 ↑	鳥取県	4.34 ↓
茨城県	11.99 ↑	島根県	5.11 ↑
栃木県	3.68 ↑	岡山県	5.50 ↑
群馬県	3.66 ↑	広島県	4.05 ↑
埼玉県	13.98 ↑	山口県	19.39 ↑
千葉県	19.56 ↑	徳島県	12.32 ↑
東京都	16.58 ↑	香川県	3.02 ↓
神奈川県	15.05 ↑	愛媛県	13.84 ↓
新潟県	3.95 ↑	高知県	2.77 ↓
富山県	2.04 ↑	福岡県	11.91 ↑
石川県	2.13 ↓	佐賀県	9.85 ↑
福井県	0.92 ↓	長崎県	10.23 ↑
山梨県	6.32 ↑	熊本県	14.91 ↑
長野県	3.72 ↑	大分県	19.55 ↑
岐阜県	2.24 ↓	宮崎県	16.31 ↑
静岡県	9.60 ↑	鹿児島県	7.98 ↑
愛知県	9.51 ↑	沖縄県	25.93 ↑
三重県	4.68 ↓	全国	9.57 ↑